

# こころ 心心



## Contents

- ②診療科紹介：整形外科
- ④優秀演題賞をいただきました！  
認定看護師・専門看護師 実践発表会のお知らせ
- ⑤新任医師紹介／紹介患者さん受け入れ停止のご案内
- ⑥薬を飲むタイミングと食べ物との飲み合わせ
- ⑦はじめまして生理機能検査科です
- ⑧抗菌薬を知って“薬剤耐性菌”から身を守ろう！
- ⑨あなたのそばに マスタードイエロー
- ⑩外科グループ手術症例検討会
- ⑫高知とさっ子メディカルラリーを開催しました！
- ⑭宝箱
- ⑮えいようだより



# 整形外科

まつもと としゆき  
松本 俊之



整形外科  
ホームページ

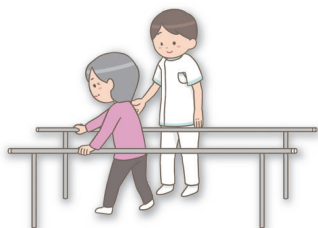
## Ⅰ 整形外科とは

整形外科は運動器の疾患を扱う診療科です。身体の芯になる骨・関節などの骨格系とそれを取り囲む筋肉や、それらを支配する神経系からなる「運動器」の機能的改善を重要視して治療する外科で、背骨と骨盤というからだの土台骨と、四肢を主な治療対象にしています。

## Ⅰ 当院整形外科の特色

整形外科が携わる疾患は非常に幅広く専門分野は多岐にわたりますが、当院では特に外傷、脊椎、関節、腫瘍を4本柱として日々診療にあたっています。

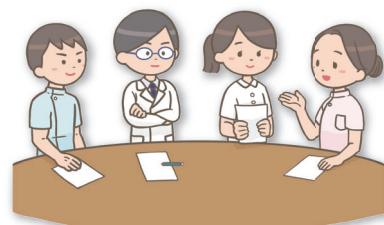
また治療に関しては投薬や注射、リハビリテーションなどの保存療法や、外科的手術による手術療法がありますが、当院では手術療法に全力を注いでいます。そのため患者さんはまず地域医療を担っていただいている整形外科の先生方の診察を受けていただき、そのうえで手術が必要な時には当院へご紹介いただき、我々が責任をもって治療にあたらせていただいています。また手術が終わりましたら、再度ご紹介いただいた整形外科の病院へリハビリテーションや投薬、注射等の治療を行っていただくために逆紹介をさせていただいています。



また当院は三次救急を担っている病院ですので、外傷の救急患者さんは主に救急車で搬送されてこられ、手術治療が必要な患者さんはそのまま入院していただきます。手術が終わりましたらリハビリテーションや投薬、注射等の治療を行っていただくために、同様に地域の整形外科の病院へ転院していただいています。

## Ⅰ 入院治療

当院整形外科では毎朝、当院整形外科医全員と医療秘書が参加してカンファレンスを行っています。このカンファレンスでは当日の手術のプレゼンテーションとその内容について、前日の手術の振り返りと今後の治療方針について、前日入院した患者さんのプレゼンテーションと治療方針について、その他入院患者さんや外来患者さんの治療の問題点などについてのディスカッションを行っており、整形外科医全員と医療秘書で情報共有を行っています。



また週に1回リハビリテーションカンファレンスと二次性骨折予防のカンファレンスを行っており、整形外科医、病棟看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、地域連携室の看護師等が参加して入院患者さんの病状やリハビリテーションの方針や進み具合、二次性骨折予防の治療方針、転院を含めた患者さんの今後の治療方針に関して、みんなでディスカッションをして情報共有を行っています。

このように主治医だけで1人の患者さんの治療にあたるわけではなく、整形外科医全員を含めた多職種でカンファレンスを行い治療方針を決定し情報共有を行うチーム医療を実践しています。

## Ⅰ 外来診療

外来では主に手術を行った患者さんの術後の経過観察と、地域の整形外科の先生からご紹介いただいた初診の患者さんの診療を行っています。術後の経過観察はレントゲンやCT、MRIなどの画像検査や血液検査を行い、丁寧に診察して術後

救命救急センター外傷センター長(兼)部長(兼)科長 松本 俊之  
 主任医長 沼本 邦彦  
 医 長 藤原 吉宏  
 医 長 宇川 諒  
 医 長 金高 圭甫

医 長 廣瀬 一樹  
 専攻医 渡邊 佑  
 【兼任】医 長 岩本 康平  
 非常勤 町田 崇博

の評価を行っています。必要な投薬や注射などはできるだけ地域の整形外科の先生にお願いをしています。ご紹介いただいた初診の患者さんは、画像検査や血液検査を行い、診察をしたうえで、手術が必要な病態であれば、患者さん本人とご家族に手術の詳しい内容、手術の利点と欠点をできるだけわかりやすく丁寧に説明しています。その内容を十分ご理解していただいたうえで手術に同意をしていただけたなら、その後に手術に必要な検査(主に胸部レントゲン、呼吸機能検査、血液検査、心電図、必要ならば心臓超音波検査)を追加し手術日を決定しています。



## Ⅰ 当科の取り組み

現在脊椎、人工関節の分野ではナビゲーションシステムを導入しています。ナビゲーションを使用することで、より正確に、より安全に手術を行なうことができます。また外傷の分野でも骨盤骨折等でナビゲーションを使用し、安心安全な手術を行なっています。また高齢者の骨粗鬆症に起因する脚の付け根の骨折(大腿骨近位部骨折)後の二次性骨折予防にも力を入れています。

## Ⅰ 最後に

整形外科では患者さんの日常生活を送るうえでの能力(ADL)や人生の質(QOL)をあげるために行う治療が非常に多いです。患者さんのこれからの日常生活や人生に寄り添いながら、より良い医療を提供できるようスタッフ一同頑張っていきたいと思っています。



(筆者)松本 俊之



2025年  
9月12日

## 第100回 中国四国外科学会総会 第30回 中国四国内視鏡外科研究会で

### 優秀演題賞をいただきました!



消化器外科  
一般外科

中尾 真綾

令和7年9月12日に開催されました上記学会において、「専攻医が執刀した人工肛門閉鎖術の治療成績の検討」という演題で優秀演題賞を受賞しましたのでご報告させていただきます。

人工肛門閉鎖術は、癒着剥離や腸管吻合など、消化器外科領域の基本手技を要する手術です。今回、当院で施行した人工肛門閉鎖術369例を対象とし、専攻医とスタッフによる治療成績を比較し、手術の安全性を評価しました。

スタッフの執刀症例の方が、初回開腹手術が多くみられましたが、患者背景、人工肛門部位などに関しては有意差を認めませんでした。周術期成績では、専攻医の方が手術時間は長かったものの、出血量、入院期間、合併症に関しては有意差を認めませんでした。

以上より専攻医による人工肛門閉鎖術は、手術時間の延長はあるものの、上級医の適切な指導のもと安全に施行し得ると考えられました。

今回の発表を通して、外科的基本手技を獲得することの大切さ、素晴らしい上級医の指導のもと学べる環境のありがたさを実感しました。このような光栄な賞をいただいたのも、ひとえに消化器外科科長の岡林雄大先生、稲田涼先生をはじめ多くの先生方のおかげであり、心より感謝申し上げます。今回の受賞を機に、さらなる学びを深め、確かな技術を身に付け、患者さんにより良い医療を提供できるよう努めてまいります。

## 第10回 認定看護師・専門看護師実践発表会を開催します!

テーマ：魅せ、伝え、繋ぐ看護

日時、会場：令和7年12月13日(土)13:00～16:30

高知医療センター 2F くろしおホール

基調講演：なぜ、今の自分があるのか

～好奇心・新たなことへのチャレンジ・維持・繋ぐ～

北里大学病院 救命救急・災害医療センター 集中治療室

クリティカルケア認定看護師 森安 恵実 氏

参加費：無料(当日参加も可能です)

対象者：県内で働く医療従事者、看護教育機関の教員および学生

お問合せ：認定看護師・専門看護師実践発表会 運営委員長 高橋 志保

TEL 088-837-3000(代)

ぜひご参加ください♪





## 新任医師紹介～New Doctor Introduction～



8月1日着任

### 血液内科・輸血科 医長 北村 亘 (きたむら わたる)

自治医大を卒業後、高知県の地域医療に従事しました。その後、岡山大学で約5年半研鑽を積み、地元の高知県に戻ってきました。血液疾患でお困りの患者さんに寄り添う事ができる診療を心掛けたいと思います。至らない点も多々あるかと思いますが、よろしくお願いいたします。



10月1日着任

### 麻酔科 副医長 竹崎 めぐみ (たけさき めぐみ)

こんにちは。高知赤十字病院、高知大学医学部附属病院での勤務を経て、10月に着任いたしました。

患者さん一人ひとりに寄り添う姿勢を大切にしたいと思っています。一日でも早くお役に立てるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



10月1日着任

### 精神科 専攻医 竹内 綾香 (たけうち あやか)

竹内と申します。

患者さんに寄り添った診療ができるよう心がけてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。



10月1日着任

### 耳鼻咽喉科 専攻医 山本 朗子 (やまもと さえこ)

岡山県出身で、耳鼻咽喉科を専門にしています。この度、ご縁があり高知県に赴任することとなりました。高知県は初めてですので、高知県の観光地やグルメを巡ることを楽しみにしております。まだまだ不慣れなことが多いですが、症状にお困りの皆さまに寄り添った医療を提供できるよう心がけます。どうぞよろしくお願いいたします。

大切な  
お知らせ

### 紹介患者さん受け入れ停止のご案内

医師の減少に伴い、診療体制の縮小が必要となることが予想されます。このため、当分の間、以下の診療科の患者さんの受け入れを停止させていただきます。

現在、当院にかかられている患者さんについても、地域の医療機関へ紹介をさせていただくことがあると思いますので、ご協力をお願いいたします。

また、紹介患者さんの受け入れ再開の折には、改めてホームページにてお知らせいたします。

患者さんおよび地域の医療機関の皆さまには多大なご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。



●腎臓内科・膠原病科

●糖尿病・内分泌内科





# 薬を飲むタイミングと食べ物との飲み合わせ



薬剤局ホームページ

薬剤局 なかや りさ  
中屋 里彩

皆さんはなぜ医師が指示した時間帯に薬を飲むのか、理由を知っていますか？また食べ物との飲み合わせで薬の効果が弱まったり、逆に強まったりすることを聞いたことはありますか？

今回は薬を飲むタイミングや、食べ物との飲み合わせで注意が必要な薬について紹介したいと思います。

## 薬を飲むタイミング

### ①空腹時に服用する薬

#### 【薬品例】

- アレンドロン酸（骨粗しょう症治療薬）
- リベルサス®（糖尿病薬）

#### 【理由】

空腹時服用の代表的な骨粗しょう症治療で使用するアレンドロン酸などのビスホスホネート製剤は、食事に含まれるカルシウムなどの金属イオンと結合することで薬の吸収が低下し、十分な効果を得られないことがあります。他にもリベルサス®は、空腹の状態で服用すると吸収が良くなり効果を発揮する薬です。そのため、これらの薬は効果を得るために、起床直後の空腹時に服用することが推奨されています。



### ②食直前に服用する薬

#### 【薬品例】

- 糖尿病薬：●ベイスン®（ボグリボース）  
●セイブル®（ミグリトール）

#### 【理由】

食直前服用の糖尿病薬は食事による血糖値の急上昇を抑え、糖の吸収を遅らせる効果を持っています。食直



前とは食事をする5~10分前とされているため、食事をテーブルに準備して「いただきます」と食事を始める前に服用するとよいでしょう。

### ③食直後に服用する薬

#### 【薬品例】

- イトラコナゾールカプセル（抗真菌薬）

#### 【理由】

一般的に食直後には胃酸が多く分泌されるため、塩基性の薬の吸収が上がります。イトラコナゾールカプセルはこの作用を利用して効果を高めるために食直後に服用します。食直後は食事をしてから10分以内とされています。







## 食べ物との飲み合わせで注意が必要な薬

薬の中には柑橘系などと一緒に摂取することで薬の血中濃度が上昇し、副作用が強くなるものもあります。しかし全ての柑橘系を食べてはいけないのではなく、品種や果物の部位によっては食べても良いものもありますので下の表を参考にしてみてください。

柑橘類以外にも薬との相性の悪い食品はいくつかあります。例えばチーズやワインは結核の薬と摂取すると頭痛、血圧上昇、動悸などを起こすことが知られています。

今回紹介した薬はほんの一部です。薬が処方された際には薬剤師から説明させていただきますが、薬品情報提供書にも同様の記載がありますのでご自身でぜひ一度ご確認ください。ご不明な点があればいつでも院外の薬局も含めて薬剤師にご相談ください。

柑橘系と相性が悪い薬		
	成分名	商品名
降 圧 薬	ニフェジピン	アダラート®
	アゼルニジピン	カルブロック®
	ベニジピン	コニール®
	シルニジピン	アテレック®
抗血小板薬	シロスタゾール	プレタール®
免疫抑制薬	シクロスポリン	ネオオラル®
	タクロリムス	プログラフ® グラセプター®

食べる際に気をつけるべき柑橘類の品種	
× 摂取を抑えるべき	グレープフルーツ、夏みかん 文旦、ぼんかん 
× 果皮のみ摂取を抑える	レモン、小夏 
○すべて摂取しても良い	温州ミカン（山北みかん） ゆず、すだち、かぼす、きんかん   





# はじめまして生理機能検査科です



医療技術局ホームページ

生理機能検査科

つつい けいこ  
筒井 敬子

こんにちは、生理機能検査科です。令和7年4月から画像検査科と生理検査科が統合し、新しく生理機能検査科になりました。臨床検査技師15名と視能訓練士2名が所属しています。

臨床検査には検体検査と生理機能検査があります。生理機能検査とは患者さんの身体を直接調べる検査のことです。

では「生理機能検査科はどんなところですか。」と聞かれたら、私ならこう答えます。

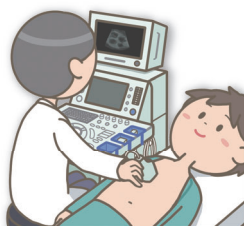
「患者さんと臨床検査技師、視能訓練士が協力しながら一緒に検査をしているところです。」

隠密のように、なかなか見ることができない検査部門ですが、患者さんが検査を見られるところ、患者さんが臨床検査技師、視能訓練士を見ることができるところが生理機能検査科です。

生理機能検査科がどこにいるかという、3カ所に散らばっています。ご紹介します。

## ①超音波検査室(1階13番受付)

臨床検査技師が超音波検査を行っています。超音波を用いて体内の組織を画像化して、臓器の大きさや内部の状態、心臓の動き、血流などをリアルタイムに観察して異常がないか調べる検査です。腹部エコー検査、心臓エコー検査などは多くの方がご存じでしょう。他にも経食道心エコー、血管(頸動脈、上肢動脈、下肢動脈、腎動脈、下肢静脈など)、乳腺、甲状腺など多くの部位の検査を行っています。



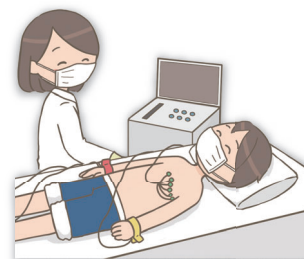
## ②眼科(2階22番受付)

視能訓練士が眼科検査を行っています。矯正視力検査、眼圧検査を受けたことがある方は多いと思います。検査の種類が多くて全ては書けませんが、他にも眼鏡処方、視野検査、眼底カメラ、色覚検査、両眼視機能検査、眼球運動機能検査、角膜内皮検査、涙液分泌機能検査、調節検査など行っています。また検査だけでなく、ロービジョンケアなどの訓練も行っています。



## ③生理検査室(2階22番受付)

臨床検査技師が超音波検査以外の生理機能検査を行っています。一番知られている検査は心電図検査でしょう。他にもトレッドミル運動負荷試験、ホルター心電図検査、脈波検査、脳波検査、聴性脳幹反応、聴力検査、平行機能検査、簡易無呼吸検査、新生児聴力検査、皮膚灌流圧検査など様々な検査を行っています。



ここで生理検査室のちょっとしんどい検査を紹介します。肺機能検査は肺の容量や酸素を取込む能力などを調べる検査です。「いっぱい吸ってー」などの大きなかけ声にあわせて、患者さんが限界まで息を吸ったり、勢いよく限界まで息を吐いたり、大変頑張っていたか



けないといけな検査です。神経伝導検査は神経の機能をみる検査です。皮膚から末梢神経に電気刺激を加えますので、多少痛みが伴います。小児の脳波検査は睡眠初期に異常波が出やすいので、睡眠脳波を記録します。検査の時眠れるように、検査当日は早めに起床していただいたり、昼寝をがまんしていただくなどご協力をお願いします。

最後に、当院は臨地実習生を受入れています。臨床検査技師を目指す学生さん達が、実際の医療機関である当院で、勤務している臨床検査技師の指導を受けて実習します。ご協力いただける患者さんには、検査を見学させていただいたり、実習生に検査をさせていただいています。「ありがとう」「頑張ってるね」と実習生にエールを送ってくださる患者さんもらっています。大変感謝申し上げます。将来、医療の一翼を担う臨地実習生をどうぞよろしくお願いします。

読んでくださりありがとうございました。生理機能検査科は、知識、技術を常に学び、患者さんに安心安全な検査を受けていただけるよう努めてまいります。今後とも生理機能検査科をよろしくお願いいたします。

読んでくださりありがとうございました。生理機能検査科は、知識、技術を常に学び、患者さんに安心安全な検査を受けていただけるよう努めてまいります。

今後とも生理機能検査科をよろしくお願いいたします。





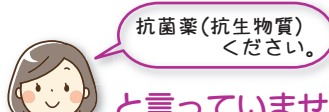
看護局ホームページ

# 抗菌薬を知って“薬剤耐性菌”から身を守ろう！

感染管理認定看護師 にしうら 西浦 あきな 明菜

感染管理認定看護師として中央手術室で勤務をしています。

院内の感染制御チームに所属し院内全体の感染対策への取り組みを行っています。今回は「抗菌薬適正使用」という活動についてお話させていただきたいと思っています。



## お医者さんに と言っていないませんか？

「熱が出て、喉が痛くて身体がだるい。」このようなかぜの原因はウイルスであることがほとんどです。ウイルスには抗菌薬が効かないので、基本的には自分自身の免疫と休息で治すことになります。

抗菌薬が効くのは細菌による感染症です。

中耳炎・肺炎・膀胱炎などの「細菌感染症」と診断された場合のみ抗菌薬が処方されます。

## こわ～い“薬剤耐性菌”を知っていますか？



薬剤耐性菌とは、抗菌薬が効かなくなってしまった菌のことです。お薬が効かず、あなたの大切な人の命が奪われてしまうかもしれません。2050年には耐性菌による死亡者数が癌の死亡者数を超えると言われており、世界中で薬剤耐性菌が大きな問題になっています。

薬剤耐性菌は病院で感染するものというイメージがあるかもしれませんが、私たちの普段の暮らしの中で広がっているのです。

## 抗菌薬を医師の指示どおりに飲んでいますか？

抗菌薬は細菌にとっては猛毒です。わたしたちが抗菌薬を服用すると、体内では細菌があの手この手を使って生き延びようと抵抗します。処方された抗菌薬を正しく飲みきれば体内の細菌をしっかりと殺菌することができます。しかし、3日飲まなければいけない抗菌薬を1日や2日で止めたりすると、弱い菌だけが殺菌されて耐性化した強い菌が体内で増えていきます。このようにして“薬剤耐性菌”が生まれ、人から人へ感染していくのです。

## 薬剤耐性菌を生み出しているのはあなたかも？ 抗菌薬を「あげない」「もらわない」「のこさない」

前述した通り、処方された通りに抗菌薬を服用しないと薬剤耐性菌を生み出すことになります。そしてその耐性菌を周囲に広げてしまうのです。だからこそ、処方された薬は飲みきること、のこさないことが重要です。他人に渡したり、必要のない時に自己判断で服用するのはやめましょう。



お薬のことで困っていること、わからないことがあれば医師や薬剤師に聞いてください。



## あなたの手が細菌やウイルスを運んでいます

かぜのような感染症にならないためには予防が一番です。

わたしたちが感染する細菌やウイルスはまず手に付着し、目・鼻・口などの粘膜に無意識に触れることで病原体が体内に侵入し感染が成立します。わたしたちの手はさまざまな細菌やウイルスを運んでいるのです。手洗い・手指消毒を行うことで自分自身を守り、まわりの人に感染させることも防ぐことができます。

引用・参考：国立健康危機管理研究機構  
AMRリファレンスセンター  
ホームページ：https://amrcrc.jihs.go.jp





あなたの  
そばに♡

# マスタートイエロー



ホームページ

## 看護師による特定行為ってなあに？



医師の指示に基づいて作成した「手順書」に従って、専門的な知識・技術を習得した看護師だけが実践可能な「診療の補助」行為です。

看護師による特定行為の実施は、患者さんに応じた適切な医療をタイムリーに提供することができます。これにより、患者さんやご家族に「治療」と「生活」の両面から支援することが可能となり、医師の負担軽減やチーム医療の推進など、医療・看護の質向上に貢献できます。

当院では現在7名の特定看護師が、日々実践やトレーニングを行い、質の高い安全な医療・看護の提供を目指し活動しています。今号では、当院の特定行為看護師3名を紹介します。



### ICU きら よしの 吉良 由乃

私が勤務している集中治療室（以下ICU）では、いかに早期に全身状態を安定させられるかを第一に、様々な職種による集中的な医療介入が行われています。

その一端を担えるよう、今年の3月に看護師特定行為研修集中治療コースを修了して以降は、医師の指導を受けながら橈骨動脈ラインの確保や中心静脈カテーテルの抜去、人工呼吸器設定変更などのトレーニングを重ねています。こうした中で、あらゆる科の医師や様々な職種のスタッフに声をかけてもらうようになり、患者さんの治療や療養生活についての話し合いがより活発にできるようになったと感じています。ベッドサイドで一番近くにいる看護師だからこそ感じる視点に特定行為研修で学んだ医学的知識を掛け合わせ、重症度の高い患者さんが少しでも楽になっていく姿を目にできた時には、やりがいや嬉しさを感じます。

ICUには「目の前の患者さんに何ができるのだろう」と真剣に向き合っているスタッフがたくさんいます。そのICUスタッフの思いを、患者さんの治療にタイムリーに結ぶため、人々を繋ぐ掛け橋のような存在となれるよう、患者さんのいち早い回復を目指し日々邁進していきたいと思っています。



### 中央手術 こまつ ゆうき 小松 ゆうき

高齢化社会の進行に伴い、手術を必要とする患者さんが増加しています。

一方、麻酔科医は手術室で麻酔をかけるだけでなく、病棟での術後の痛みのコントロールや集中治療室など様々な医療の現場で活躍しており、その業務は多岐に渡ります。2024年に

医師の時間外労働・休日労働に対する上限規制が施行され、医師の多忙な業務の改善が急務となりました。その打開策として活躍を期待されているのが麻酔科領域における看護師の特定行為です。特定行為研修では、術中麻酔管理領域パッケージと呼ばれる研修を受講し、10ヶ月に及ぶ講習や実習で麻酔管理について学びます。私は今年3月にその課程を修了し、現在は当院の手術室で麻酔科医の指導を受けながら、輸液量の調整や呼吸器の設定変更などのトレーニングを行っています。医師にすぐ相談ができる状況ではありませんが、麻酔で眠っている患者さんを前にして、手術侵襲に対応しながら全身管理を担うということに、大きな責任を感じている毎日です。一人前の特定看護師になる道のりはまだまだ遠いですが、麻酔科医のタスクシェアに貢献できるように、これからも一生懸命取り組んでいきたいと思っています。



### 救急外来・中央診療 なかた ゆか 中田 有香

私が勤務している救急外来・中央診療部門には、救急領域パッケージを修了した看護師が3名在籍しています。救急外来は、1分後、2分後、もしくは30秒後には、めまぐるしく状況が変化をする場所です。救急車が重複し、医師も看護師も多忙な状況ですが、看護師は、患者さんに関わる時間が長く、何かできる事はないかと考える日々でした。そのような折、上司からの勧めもあり、看護師特定行為研修を受講する事を決めました。そして、令和6年度、看護師特定行為の救急領域パッケージの研修を受講し、無事修了することができました。研修では、自身の看護の知識や技術の未熟さを痛感しながらも、研修を通し看護師として成長を感じることができました。現在は、主に救急外来で、救急科指導医の指導の下、①人工呼吸器の設定の変更、②気管チューブの位置の調整、③橈骨動脈ラインの確保、④抗けいれん薬の臨時投与、⑤脱水症状に対する輸液の補正、⑥人工呼吸器管理中の鎮静薬の調整についてトレーニングを行っています。

まだまだ特定看護師として未熟ではありますが、「医師と連携しタイムリーな医療の提供」「看護師としての成長」「他職種との連携」を念頭に看護師特定行為を実践し、患者さんに提供していきたいと思っています。

# 外科グループ手術症例検討会

令和7年8月6日に第37回高知医療センター外科グループ手術症例検討会を行いました。今回は消化器外科・一般外科から3例、移植外科、呼吸器外科から1例ずつの計5例の発表でした。内容は

- ①IgG4関連膵炎に合併した膵管内乳頭粘液性腺腫(IPMA)の1例
  - ②抗ドナー抗体陽性腎移植の1例
  - ③結腸デスマイド腫瘍の1例
  - ④魚骨により胃大網膿瘍を発症し腹腔鏡下膿瘍ドレナージ及び大網切除術を施行した1例
  - ⑤血痰で受診し診断に難渋したPleomorphic Carcinomaの1例
- でした。

いずれも示唆に富む症例であり、病理医からの解説もあり、とても有意義な会になりました。現地とwebのハイブリッド開催と、後日のアーカイブ配信も行っております。これからも皆さまの日常臨床にお役に立てるように努力していきますので、何卒よろしくお願いいたします。

副院長 澁谷 祐一

## IgG4関連膵炎に合併した膵管内乳頭粘液性腺腫(IPMA)の1例

消化器外科・一般外科 田淵 幹康 <主治医>岡林 雄大

症例は75歳女性、CTで膵体部主膵管の狭窄、末梢膵管拡張を認めた。早期膵癌も否定できない状況でありロボット支援下膵体尾部切除術を施行した。

病理診断は、膵管内に胃型IPMNの増生があり、周囲の間質にIgG4陽性の形質細胞浸潤を認め、PMAおよびIgG4関連自己免疫性膵炎と診断された。

膵管腺癌(PDAC)の前駆病変として膵上皮内腫瘍(PanIN)と膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)があるが、慢性的な炎症過程がこれらの腫瘍性病変の発症リスクを上昇させることが知られている。

今回の症例では、IgG4関連疾患による慢性炎症下に膵管上皮が反応性から腫瘍性となったと推測される。

## 抗ドナー抗体陽性腎移植の1例

移植外科 堀見 孔星

導入時免疫抑制療法の進歩により腎移植における早期の細胞性拒絶反応は著明に減少した。しかし、レシピエントがドナー特異的抗HLA抗体(donor specific antibody:DSA)を有する場合、脱感作を行わないと抗体関連型拒絶反応(antibody mediated rejection:AMR)により移植腎機能障害や機能廃絶を来す。

今回、輸血・妊娠を感作としてDSAを有する60

才台女性の夫婦間移植に対して、術前脱感作療法として通常の免疫抑制療法に加え血漿交換・Rituximab・大量IVIg(免疫グロブリン)を行い移植を施行した。術後は良好な経過で移植腎生着中である。

術前減感作療法を行う事で免疫学的ハイリスク症例も腎移植を行える。



## 結腸デスモイド腫瘍の1例

消化器外科・一般外科 吉岡 貴裕 <主治医> 稲田 涼

デスモイド腫瘍は軟部腫瘍の約0.03%と稀で、結腸由来のものは更に限られる。症例は57歳女性で、右季肋部腫瘍自覚を契機に10cm大の巨大な横行結腸粘膜下腫瘍を指摘され、当院消化器外科を紹介受診された。

CTでは既に腫瘍が周囲臓器を圧排しており、手術で摘出する方針となった。手術時に十二指腸浸潤が疑われたため、右半結腸切除・十二指腸部分切除が行われた。術後は胃排泄遅延を生じたが、その他縫合不全等の重大な合併症を生じることなく経過

し、術後26日目に軽快退院となった。

病理検査では線維芽細胞様の紡錘形細胞が束状に配列し、 $\beta$ -cateninが核内に陽性のため、デスモイド腫瘍と診断された。稀な結腸原発デスモイド腫瘍を経験したために、外科グループ症例検討会にて本症例を報告した。結腸の軟部腫瘍にはGIST (Gastrointestinal stroma tumor) や平滑筋腫などがあるが、デスモイド腫瘍についても鑑別に挙げる必要があると考えられた。

## 魚骨により胃大網膿瘍を発症し腹腔鏡下膿瘍ドレナージ及び大網切除術を施行した1例

消化器外科・一般外科 森田 哲司 <主治医> 高田 暢夫

魚骨が胃穿通し大網内に迷入したと思われる稀有な症例を経験したので報告する。

症例は79歳男性で二日前から心窩部痛を主訴に前医を受診した。CTで上腹部に腹腔内膿瘍を認め精査加療目的に当科紹介受診となった。膿瘍の最大径は5cmで内部には線状の高吸収域を認めた。膿瘍は胃に近接していたが明らかな連続性はなかつ

た。魚骨の誤飲及び胃壁から腹腔内の迷入を疑った。

問診すると30cm程の大きさのアジを食べた後に心窩部痛を自覚していたとのことであった。入院翌日に腹腔鏡下膿瘍ドレナージ及び大網切除術を施行した。魚骨は同定することができなかった。術後経過は良好であった。

## 血痰で受診し診断に難渋したPleomorphic Carcinomaの1例

呼吸器外科 吉田 千尋

症例は76歳男性、血痰を契機に近医を受診し、左下葉に径5cm大の結節を認め、肺癌が疑われ当院紹介となった。気管支鏡検査を施行したが診断に難渋し、診断と治療を兼ねてロボット支援下左下葉切除術を施行した。

永久病理組織診断でPleomorphic Carcinoma (多型癌)と診断された。術後は良好に経過し術後7日目に自宅退院となった。

Pleomorphic Carcinomaは肺悪性腫瘍の0.1-0.3%と稀な腫瘍で、術前の確定診断が難し

い。診断には肉腫様成分と上皮性腫瘍成分の証明が必要となり、ある程度の検体量が必要である。化学療法や放射線療法に対して抵抗性を示し、生物学的悪性度が高く、進行も早いいため予後は非常に悪い。

本症例は幸い根治切除を行うことができた。今後は再発に関して慎重に経過をみていく。再発した際には腫瘍のPD-L1発現率が高いため、免疫治療を選択する方針である。

診断が未確定であっても肺癌を高率に疑う場合は積極的に手術を検討する必要があると考える。

2025  
9/14(日)



を開催しました！

子どもたちだけで遊んでいるときに、おともだちがケガをしたら、急に倒れた人に出会ったら、子どもたちはどうするでしょう。勇気をもって声をかけることができますか？子どもたちにできることはあるでしょうか。親子でいるときに、あなたの命を救うための行動をとれるでしょうか？

子どもメディカルラリーはそのような状況に遭遇したときに、子どもたちで考え、自分たちの身を守りつつ、けがをした人、倒れている人に適切な手当てができるようになれば、との願いから企画されました。

日本では大阪の千里救命救急センターから始まり、いまや全国十数か所で開催されるようになりました。四国では徳島、香川でされていたものの高知県では初めてでしたので、他県でのラリーに手分けして参加し、運営のやり方を学んでからの開催となりました。

「とさっ子メディカルラリー」は小学校4年生から6年生を対象としたチャレンジャー 3名で1チームを作って申し込んでいただきました。参加費用は無料。予定では12チームを上限にしていたましたが、想定以上に反響があり、16チーム48名に申し込みいただきました。初開催ということで今回は全チームをエントリーとさせていただきました。

開催日となった2025年9月14日は3連休にもかかわらずボランティアスタッフは150名以上応募いただき、運営することができました。スタッフ参加の中学生・高校生・大学生にはチーム付きのチューター(案内役)の役目を担っていただき、一緒に学んでもらいました。9月とはいえ残暑厳しい高知の気候ですので、高知医療センター病院内の1-2階の一般外来を広く使った屋内開催とし、屋外では駐車場スペースで働く車の

展示もさせていただきました。

午前中は講義と午後につなげるためのスキルを実技で習得してもらい、119番通報の方法、怪我の圧迫止血と感染防御、骨折の三角巾等による副木固定方法、ショックの認識と対応の方法を学んでもらいました。

また普段はAHA-BLSという心肺蘇生法のインストラクターをしている方に指導してもらい、人形を用いて胸骨圧迫、AED解析、電気ショックの実技を練習しました。高知県警察音楽隊にご協力いただき、アンパンマンのマーチで



100回/分のリズムにのって胸骨圧迫の練習。強く、早く、絶え間なくのリズムが身体に染み渡ったようでした。一緒に付き添っていただいた保護者の方々にも好評だったようです。



アンパンマンのマーチにのって1分間の胸骨圧迫



午後からはチューターと保護者の方々と共に8つのステーションを順次、回ってもらいました。10分競技、10分休憩の繰り返しでチャレンジャーもスタッフも大変だったと思いますが、クイズなども盛り込みながら午前中に習った講義や処置の内容を実際にやってみるスタイルを取り入れました。またスタッフは前半と後半で入れ替えし、少しでも他のステーションを見学できる時間を確保しました。



ステーションについては設定された救急の場面で、子どもたちが勇気と思いやりを持って行動し、「自分たちができること」に気づけるような工夫を盛り込みました。

交通事故現場では圧迫止血と骨折の固定をしてもらい、あんぱんを詰まらせたお爺さんには背中を叩く方法を、119通報からのLive119動画提供をみながらやってもらいました。お店で急に倒れた母親には午前中に習った胸骨圧迫とAEDで見事に蘇生させ、海で溺れた人を救助する、というように、各場面で大活躍をしていただきました。経口補水液作りや車椅子、マクドナルドのクイズを学び、高知海上保安部にロープワークを教えてもらったりしました。

はたらく車の展示では、電動ストレッチャーへの試乗と操作、陸上自衛隊の救急車両、消防士の姿になって三里消防団の消防ポンプ車で放水ポーズ、警察パトカーへの乗車、白バイに乗車、ドクターカー展示で子どもたちの気分も盛り上がりを見せていました。また警察による交通安全教室も行われ、安全な自転車走行についてお話がありました。このような組織横断的な紹介と交流を、子どもたちを介してできたことも、得られた成果であると思っています。

初回開催で迷うことも多く、準備や情報共有の面でもスタッフの皆さまにご心配をおかけしたことをこの場を借りてお詫びいたします。また当院のスタッフの多大なるご協力がなければ到底なし得なかったイベントでしたが、それでも、県内外からご協力いただいたスタッフの皆さま、勇気をもって参加されたチャレンジャーの子どもたち、見守っていただいた保護者の方々のおかげで事故等もなく終えることができましたことに、心から感謝いたします。事後アンケートも収集しましたが、今後に向けてのご意見をたくさんいただきましたので活かしていく所存です。また子どもたちへの参加賞としてお渡ししたお土産のピンバッジと名前入りマグカップはスタッフの手作りですので大事にしていだければと思います。

参加してくれた皆からのメッセージを紹介するよ！



とても楽しかったです。またやりたいです。AEDの使い方がわかった。

今日のことはとても大切だと思います。このイベントをしたから1つの命を救えそうです。チームと協力でできて楽しかったです。



スタッフの皆様が真剣に子どもと向き合い、楽しんでいる姿に親の私たちまで、自分やったらどうするか、を考えながら一緒に学ぶことができました。心のごもったご準備に企画に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



貴重なお休みに、たくさんのスタッフの方がボランティアで尽力してくださり、子どもだけではなく、親も一生忘れない貴重な経験となりました。準備や当日の運営もとてもスムーズで、皆様のチームワークの素晴らしさに感動しました。ご負担が大きいと思いますが、この素晴らしいイベントが第二回、第三回とずっと続いていくことを祈っております。



主催は高知県・高知市病院企業団立 高知医療センターとし、後援として高知県、高知市消防局、高知県警、海上保安庁 高知海上保安部、高知県医師会、高知県看護協会、高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、NHK高知放送局にご協力いただきました。

ありがとうございました。

文責 救命救急センター長 齋坂 雄一





# 宝箱

～患者さんの声のご紹介～

当院では、患者さんのご意見を宝物と考え、各フロアにご意見をいただく「宝箱」を設置しています。

私たちは、患者さんに安心、安全、快適に診療を受けていただけるよう日々努力を続けており、患者さんのご意見をもとに私たちも成長していくことができるものと考えております。

スタッフ、環境・設備のこと、良いこと悪いことを含めてお気づきの点があればどのようなことでも構いませんので、できるだけ具体的にお教えてください。

※なお、宝箱の投稿には緊急対応はできかねますので、お急ぎの場合はお近くの職員またはまごころ窓口にお知らせください。

## 宝箱へのご意見

子どもの付添いをしていました。10日以上のご付添いですが、不便なことが多かったため改善していただければと思い投稿しました。1才ぐらいの子どもは1人ではベッドで待てないので、食事、お風呂、すべてにおいて大変です。できれば、下に買いに行かなくても大丈夫なように、冷凍庫を使用できる、電子レンジも使用できるようにしていただきたいです。感染対策と言われましたが、不特定多数の人が出入りするコンビニの方が感染するのではないかなと思いました。付添いの方が体を壊したら大変なので、できれば付添いの母親、父親にも寄り添っていただけると嬉しいです。(令和6年12月のご意見)

### <回答内容>

この度はご不便をおかけしました。現在、栄養局で付き添いの方への食事提供について検討しております。なお、冷凍庫・電子レンジは、治療上の理由で生ものを摂取できない方の利用に限定しております。利用する方の健康状態や衛生管理等の課題がありますので、自由に利用することは困難なことをご理解いただければと存じます。

※ご意見をいただいた当時は上記のように回答しましたが、同様のご意見を多くいただくことから必要性が高いと判断し、感染対策にも配慮したうえで令和7年4月から病棟の全ての階に電子レンジを設置し、ご利用をいただいています。



病棟(10階ラウンジ)に設置された電子レンジ





# えいようだより



栄養局ホームページ えいようだより

えいようだよりの  
バックナンバーは  
こちらから♪

管理栄養士 **よこやま 横山 ひな 緋南**

## 冬の風邪予防に！免疫力を高めよう！

寒く乾燥する冬は、風邪やインフルエンザにかかりやすい季節です。免疫力を保つには、毎日の食事で身体の中から整えることが大切です。旬の食材や発酵食品をうまく取り入れて冬を元気に乗り切りましょう。

### 〈免疫力を支える栄養素と食材〉



#### ビタミンC

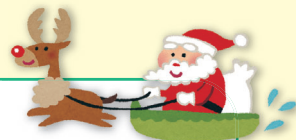
風邪や感染症から身体を守る  
白血球の働きを助けてくれます。  
抗酸化作用もあり老化予防にも効果的。



みかん  
1個で1日の必要量の  
1/3を摂れる



ブロッコリー  
野菜の中でも含有量が多い



#### ビタミンD

体の防御機能を整える働きがあります。  
日光に当たることで身体の中で作られますが  
冬は日照時間が少なく不足しやすいです。



キノコ類  
しいたけ・舞茸は  
特におすすめ



鮭  
良質なタンパク質も  
一緒に摂れる

#### 亜鉛

細胞の新陳代謝や免疫細胞の働きに欠かせない  
栄養素。新しい細胞の形成を助けるため味覚や  
肌・髪にも重要です。



牡蠣  
含有量が多いですが  
食中毒のリスクがあるため  
十分な加熱を。缶詰もおすすめ



ナッツ類  
おやつなどで  
手軽に摂れる

#### 発酵食品

発酵食品には善玉菌が多く含まれ、腸内のバラン  
スを整えてくれます。腸内環境が良になると免  
疫細胞が活発に働き身体の免疫力が高まります。



ヨーグルト  
善玉菌の乳酸菌が豊富



納豆  
納豆菌が生きたまま腸に届く

\*\*\*\*\*  
まずは規則正しく3食食べましょう。加えて、朝食にヨーグルトをプラスし、間食にみかん、  
お鍋には野菜とキノコをたっぷり入れる等の工夫が取り入れやすくおすすめです！  
\*\*\*\*\*

#### 料理レシピvol.92

##### <材料 2人分>

- ・ブロッコリー 50g
- ・ベーコン 15g
- ・しめじ 20g
- ・チーズ 30g
- ・ケチャップ 少々
- ・卵 2個
- ・牛乳 大さじ2
- ・マヨネーズ 大さじ1
- ・砂糖 小さじ1
- ・塩コショウ 少々

#### キッシュ風オムレツ

##### 【作り方】

- ①ブロッコリーは小さめの一口サイズに切りレンジで1-2分加熱。  
ベーコンは1cm幅に切る。しめじは石づきを切り小分けにする。
- ②耐熱容器に(A)を入れて混ぜる。
- ③②に①とチーズを加えて混ぜる。
- ④レンジで600W3分半、その後オーブントースターで  
焼き目が付くまで加熱。
- ⑤お好みでケチャップを添えて完成。



ブロッコリーと  
しめじで免疫力アップ！  
クリスマスの一品にも  
おすすめ！



撮影・料理：横山

(1人分あたりの栄養量) エネルギー 241kcal たんぱく質 13.0g 脂質 18.4g 炭水化物 5.4g 食塩相当量 1.0g

## 高知医療センター 理念及び基本方針

### 理 念

医療の主人公は患者さん

### 基本方針

1. 患者さんから信頼され、温かい人間性に裏打ちされた夢と希望を提供する医療を実践します
2. 地域医療連携を基本とした良質で高度な医療を提供します
3. 自治体病院としての使命を果たします
4. 職員が誇りとやりがいを持ち、成長できる病院にします
5. 公正で開かれた病院運営と健全な経営を目指します

## 「がん相談支援センター」のご案内

当院ではがんに関する情報提供、療養上の悩み、不安、医療費や公的サービス、セカンドオピニオン、緩和ケアなど、がんに関する相談を受けることができるように「がん相談支援センター」を設置しています。

相談は無料です。当院の患者さんに限らず、どなたでもご利用できます。個人情報厳守いたします。

### 相談日時

月～金曜日  
9:00～16:00  
(祝日・年末年始を除く)

### 相談方法

- ◆面談相談：がんサポートセンター  
4階 がん相談支援センター
- ◆電話相談：088-837-3863(直通)
- ◆FAX：088-837-3871
- ◆E-mail：gann\_connsult@khsc.or.jp

※混み合っている場合には、お待ちいただくか、予約をして後日来院していただくことになります。ご了承ください。

※がん相談は治療方針を決定するところではありません。



がんに関する様々な  
悩みを一緒に考えて  
いきたいと思います。  
お気軽にご相談ください。



### こころ 第58号

高知県・高知市病院企業団立  
高知医療センター 広報誌

発行 令和7年12月1日  
発行者 小野 憲昭  
題字 佐藤 光峰  
編集 高知医療センター 広報委員会  
印刷 株式会社 高陽堂印刷

高知県・高知市病院企業団立  
**高知医療センター**

〒781-8555  
高知県高知市池2125-1  
TEL：088-837-3000(代)  
FAX：088-837-6766  
HP：https://www2.khsc.or.jp



### <表紙写真>

名前：山田さんちのつぼみちゃん  
性別：女の子  
種類：ロシアンブルー  
性格：ちょっぴり神経質  
チャームポイント：チュールを貰う時にお手ができるよ！



ホームページ



広報誌こころ



地域医療センター公式LINE



外来担当表